

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和7年10月20日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社菅原組
所在地	〒040-0076 北海道函館市浅野町4番16号
代表者役職・氏名	代表取締役 菅原 修
担当者連絡先	電話：0138-44-3710 メール： info@sugawaragumi.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.sugawaragumi.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和31年に創業した総合建設業者であり、北海道・東北の港湾を中心として自社保有の作業船を活用して海上土木工事、浚渫工事の請負事業を実施している。
保有する作業船については蓄電池を導入するなどして、施工中のみならず、港湾係留中に船舶の排出するCO₂削減にも取り組んでいる。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	次世代自動車の導入促進（EV、PHV、HV等）	次世代自動車導入率 【現状】70.21% 【目標】100%
□環境 ✓社会 ✓経済	働き方改革と生産性向上で年間総労働時間平均を短縮する	年間総労働時間平均 【現状】2,003時間 【目標】1,922時間以内
□環境 ✓社会 ✓経済	健康経営の推進により、肥満の人になりやすいとされている、糖尿病、高血圧、脂質異常症などの「生活習慣病」を予防する。	BMI25以上の比率 【現状】48% 【目標】30%

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目														
			1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・各ハラスメント禁止を就業規則に明記している ・カスタマーハラスメントに対する基本方針を策定 ・年1回ガバナンス強化研修会を開催して社員教育を実施している。管理本部長を相談窓口としている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・「安全衛生管理計画書」を作成し運用。時間外労働の短縮及び休日の確保(週休2日(土・日)十祝日)を推進、管理している ・業務支援部署を設置し、時間外労働削減に取り組んでいる								8.5 8.8							
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・ISO45001を認証取得している			3					8							
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・健康経営の推進やストレスチェックの実施に取り組んでいる		3													
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・多様な人材が活躍できるよう働き方改革や柔軟な働き方の環境整備を行っている			5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・職務や役職に応じた外部研修の受講や、CPDS教育受講を行っている。 ・資格取得費用や出張旅費を支給している		4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している				5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・事業所全体で健康づくりに取組む健康宣言を社内外に発信 ・健康経営優良法人に4年連続で認定。ブライト500に3年連続で認定		3				8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	廃棄物の発生抑制と混合廃棄物の分別率100%を目標に取り組んでいる										11.6 12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	エネルギー使用量の把握と低減を進めている					7.3						13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	温室効果ガス排出量の把握と低減を進めている			7.2 7.3							12.4 13.3					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	SDSをもとに各現場から安全課が収集してリスクアセスメントを実施。作成した「リスク低減措置」表を各現場で共有している。			3.9			6.3				11.6	12.4						
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・全工事、各現場環境に配慮した目標を立てて、施工実施している。 ・会社周辺や施工範囲の清掃活動にも積極的に取り組み、海の生物への影響低減に努めている						6.6								15			
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4	6.6											
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	ISO14001認証を取得している		3.9			6	7				12	13.3	14	15				
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	ESG/SDGs行動計画をHPで開示している										12.6							
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	再エネ100%電力の使用(本支店営業所)					7.2					13							
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	海の天然資源と漁業を守るため昆布養殖事業を展開										12.2	13	14	15				
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	ISO45001認証を取得している		3.9								12.4							
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	ISO9001認証を取得している								9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	グリーン購入を進めている					6					12	13	14	15				
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	地域の防災活動に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	海岸清掃や交通安全街頭啓発、JAZZ、地域のお祭りへの参画など、多種多様な活動を行っている				4						11			14	15		17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	・地産地消を積極的に行っている ・自社で養殖した昆布を積極的にPRし、他社とコラボレーションしている							8	9		11	12	13					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
組織体制	【内部管理体制】 ・ SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・経営理念を明文化している ・経営者が理念を持ち、適時、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している									8	9						17
	【法令遵守】 ・ 反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・社内報や掲示板、会議等で法令遵守(コンプライアンス)の重要性を全社員に向けて発信している。 ・ガバナンス強化研修会を年1回実施している。 ・暴追協への加盟																16
	【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	体制を明確にして管理している																16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	発注機関との意見交換会、受益者である漁組への訪問も行っている																16 17
	【リスクマネジメント】 ・ 法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	統合マネジメントシステム(IMS)を運用している																16
	【社会的責任】 ・ C S R (Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	会社独自のSDGs宣言を策定し取り組みしている																16
	【事業継続】 ・ 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	BCPを策定している										9	11	13.1				16
	【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている	対策を行っている									8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したもので、個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。